

ESAは11月5日にギアナ宇宙センター(フランス領ギアナ)フランス領ギアナから、アリアン6ロケットでセンチネル - 1Dを打上げ、成功しました。①~⑤ アリアンスペースが運用する大型ロケットアリアン6が、センチネル-1Dを高度693kmの太陽同期軌道に投入することに成功しました。衛星の分離は打ち上げから34分後に行われました。

センチネル - 1Dは、センチネル - 1衛星群の4番目の電波で観測するSARR衛星です。

センチネル - 1A (2014年打上 現在も運用中)

センチネル-1B(2016年打上2022年運用中止)

センチネル-1C(2024年打上 2034年まで運用予定)

センチネル-1D (今回打上 2035年まで運用予定)

現在センチネル-1衛星群は、センチネル - 1Aとセンチネル-1Cがそれぞれ12日毎に同一地域を観測します。2基で観測しているので6日毎に観測データが更新されます。今回打上げられたセンチネル-1Dは、センチネル - 1Aと交代します。人工衛星が位置をどのように変化させるのか興味深いですね。

交代の様子を、「lizard-tail.com」サイトで追ってみましょう。

コペルニクスブラウザで、<u>センチネル-1D</u>観測データ を確認できる日がくるのが楽しみです。

1サイトのURLをタイプするかタップ

*①~⑤は全て@esaです

アリアン6ロケット



10月16日打上

https://www.lizard-tail.com/isana/tracking/